



有機野菜を楽しんで選んでほしい



キミドリ フーム & キッチン
ひらかた きよひと さわみ
平形 清人さん(左) 佐和美さん(右)

有機農業を始めるまで

清人さん 初めて有機農業を意識したのは、大学で環境学を学んでいた時のことです。ゼミで行ったエクアドルでは、企業による開発が進み、河川汚染などの環境破壊が起っていました。そんな中、現地の人たちが環境や自分たちの生活を守るために有機農業を行っているのを目撃したりにし、自分も環境に配慮した農業に携わりたいという思いが芽生えました。

その後、有機穀物を扱う仕事や環境に関する活動を経験して高山村に戻り、有機農業を始めることになりました。

有機農業の面白さ

清人さん 有機農業を始めて10年以上経つた今でも、毎年新たな課題が出てきます。有機農業は天候に左右されやすく収穫時期も限られるので、収穫量が安定しないなどの問題もあります。それに伴い、出荷の調製にも

高山村で有機農業を行う平形さん夫妻。夫の清人さんは生産を、妻の佐和美さんは広報を担当しています。有機農業に携わるそれぞれの思いを伺いました。

苦労します。しかし畠の状態や天候を観察し、生産方法の改良に成功したときや、私たちの野菜を楽しみにしている皆さんの期待に応えられたときには大きな喜びを感じます。

また短い期間ではありますが、有機農業を始めた人や興味のある人などを農業宿泊体験のような形で受け入れています。この交流からも新しい気づきをもらっています。

野菜を選ぶきっかけを

佐和美さん 私たちは環境に配慮したいという気持ちから有機農業を行っています。その気持ちに共感してもらえば嬉しいですし、消費者の皆さんに野菜のことを少しでも知ってもらい、楽しながら購入してもらいたいと思っています。そのため作物がどのようにして育ってきたのかをSNSなどで発信したり、より気軽に野菜を楽しめる加工品を作ったりしています。

その他にも高山村の「さとのわカフェ」に野菜を卸しています。今月の「ぐんま広報」の表紙は、私たちが作ったビーツやトウモロコシを使用したピザとスープです。

これからも、多くの人に有機農産物に興味を持ってもらえるような工夫をしていきたいと思います。

群馬は山間部もあれば平地や盆地もあります。それぞれの土地で育つ野菜の種類や旬の時期はさまざまです。県産の野菜をたくさん食べて、その中で有機農産物にも触れてもらえるとうれしいです



有機野菜を作るぐんまの農家の皆さんの思い



県内の有機農業に携わる農家の皆さんの思いを1本の動画にしました！県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」でぜひご覧ください

「有機農業の魅力」
視聴はこちらから▶



買い物などに便利！

ぐんま有機 JAS農産物等 デジタルマップ



県内で有機農産物などを取り扱う販売店や、食材として有機農産物を利用している飲食店の他、オンラインショップなどを掲載した「ぐんま有機JAS農産物等デジタルマップ」を公開しています。マップを活用して気になる店の農産物を味わってみてください。
※6年9月現在、68店舗を掲載



詳しくはこちらから▶



農家に出会い、農産物に出会う。 群馬の「オーガニックマルシェ」に遊びに来ませんか？

県では、環境に配慮した県産の農産物の魅力を県民の皆さんに知って、食べてもらうため、県内各地で「オーガニックマルシェ」などの販売会を開催します。有機農産物など環境に配慮して生産された農産物やそれらを活用した加工品を販売します。

生産者の思いが詰まった農産物を直接購入できる貴重な機会です。ぜひお越しください。



オーガニック マルシェ in スマーク伊勢崎

日 10月19日(土)、20日(日)
午前10時～午後3時
所 スマーク伊勢崎
(伊勢崎市西小保方町)
¥ 入場無料

利根沼田 オーガニック マルシェ in たくみの里

日 10月26日(土)、27日(日)
午前10時～午後3時
所 道の駅 たくみの里
(みなかみ町須川)
¥ 入場無料

県内最大級 ぐんまオーガニック フェスタ

日 12月7日(土)
午前10時～午後3時
所 高崎城址公園
(高崎市高松町)
¥ 入場無料

これらは環境に配慮して作られた農産物の目印です！

買い物の際は、これらのマークが付いた商品を取り、環境に優しい農業を応援してみませんか？



有機JASマークのついたコマツナ